

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 豊かな出会いでにぎわうまち

施策番号・名 18 地域産業の振興

基本事業番号・名 18-01 地域の魅力の発信、継続

事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)			
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
18-01-01	産業振興課	市内の市産のうち産業振興及びシティセールスに結びつくことが可能なもの	対象	平成21年度	委員・幹事数	平成21年度	提案された事業 (実現可能な事業)	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)	
	10			23		3		2,710	8,424	11,134	22年度以降に向けた方向性	縮小	所管課長名:	産業振興課 小山輝男			
	(人)			(回)		(事業数)					改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性		現状維持		
	平成20年度			平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年～22年2月で、委員の任期がいったん終了したことに伴い、再度会議体の目的や方向性の見直し・改善を行う。	23年度以降も新たなシティセールス結び付くような事業展開を検討するため、事業展開の方向としては拡大していくことになる。しかしながら、協議会等の会議開催回数やそれに伴う運営事務費の経費などは、工夫に努めていく。					
18-01-02	産業振興課	市の資産である湧水、河川、農産物を利用し、産業振興及びシティセールスに結びつける。また、イベント実施により集客をはかり、経済効果に期待する。	手段	平成21年度	雇用人数	平成21年度	観光マップ印刷部数	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)	
	4			6		30,000		3,357	2,832	6,189	22年度以降に向けた方向性		所管課長名:	産業振興課 小山輝男			
	(人)			(月未満)		(枚)					改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性		廃止(完了・統合含む)		
	平成20年度			平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	東京都の緊急雇用創出事業で行ったため事業は完了している。	同左					
18-01-02	観光マップ事業	失業を余儀なくされた方の雇用を確保する。	意図	平成19年度	勤務月数	平成19年度	観光マップ印刷部数	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度						
	9			30		4		2,704	9,606	12,310							
	(人)			(回)		(事業数)											
	平成19年度			平成19年度		平成19年度		平成19年度	平成19年度	平成19年度							
18-01-02	観光マップ事業	雇用を創出し、成果物の観光マップをシティセールスに結びつける。	意図	平成19年度	勤務月数	平成19年度	観光マップ印刷部数	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度						
	9			30		4		2,704	9,606	12,310							
	(人)			(回)		(事業数)											
	平成19年度			平成19年度		平成19年度		平成19年度	平成19年度	平成19年度							